



2026(令和8)年1月

高度急性期 3 病院は 2025(令和 7)年 4 月より 「3 病院の共同・連携による診療材料等物品調 達及び管理等業務委託契約」に基づき、新たな SPD 共同運用を開始しています。

国立研究開発法人国立循環器病研究センター（理事長：大津欣也）、独立行政法人国立病院機構大阪医療センター（院長：松村泰志）、及び国立大学法人大阪大学医学部附属病院（病院長：野々村祝夫）の3病院は、それぞれ設置主体の異なる高度急性期病院として、持続可能で良質な医療の提供という使命のもと、経営基盤の強化に取り組んでおります。

この取り組みの一環として、2023(令和5)年5月に「診療材料の調達・物流等に係る連携に関する協定」を3病院間で締結し、病院経営の改善に資する共同の取り組みを推進することとなりました。

さらには、2025(令和7)年4月より「3病院の共同・連携による診療材料等物品調達および管理等業務委託契約」を、3病院SPD（Supply Processing and Distribution）受託業者である「小西医療器株式会社」様と締結し、新たなSPD共同運用を開始しました。これにより診療材料等の効率的かつ安定的な調達・管理が可能となり、医療の質の向上並びに業務の効率化が期待されます。

つきましては、各メーカー様及び各取引業者様におかれましては、本共同運用の主旨を深くご理解いただき、以下の要請事項について特段のご配慮を賜りますよう強くお願い申し上げます。

【要請事項】 3病院同一価格の適用と窓口の一本化

3病院で採用している「同一の商品」については、病院間の価格差を是正し、3病院全てにおいて「同一の価格」にて供給いただくようお願いいたします。

1. 3病院同一価格の維持に向けたメーカー調整の要請

3病院への納入単価に差異が生じないように、各メーカー様におかれましては、病院間での条件格差の是正に向けた特段の調整をお願いいたします。

2. 調達窓口の一本化（3病院SPD受託業者への集約）

本共同運用における診療材料等の調達、価格交渉、マスタ管理等の業務は、3病院SPD受託業者である「小西医療器株式会社」様が3病院を代表する一括窓口として対応いたします。見積提出や価格調整に関する協議は、3病院SPD受託業者を通じて実施いただきますようお願いいたします。

3. 効率的な供給体制（商流）の構築

SPD共同運用による物流効率化のメリットを最大化するため、各メーカー様から3病院SPD受託業者への直接供給を基本とした、効率的かつ安定的な商流の構築にご協力をお願いいたします。

この一連の取り組みは、地域医療の質向上と持続可能な病院経営に資する極めて重要なプロジェクトです。各メーカー様及び各取引業者様におかれましては、本趣旨に沿ったご対応を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

【本件に関する問合せ先】

- | | | |
|---------------|---------------------|----------------------------------|
| ○国循(窓口) | 財務経理課(北村)、企画経営課(星野) | 06-6170-1069
(内線 40050、40033) |
| ○大阪医療センター(窓口) | 事務部企画課(渡部) | 06-6946-3555 (内線 7567) |
| ○阪大病院(窓口) | 事務部管理課(松尾) | 06-6879-5116 (内線 5120) |